

じんましん・湿疹

じんましん

- 一時的に出現する**かゆみのある赤くて膨らんだ発疹**です。
- 丸や、楕円形、地図状に膨らみます。
- およそ数十分から数時間で消失します。
- 原因としては**食物アレルギー**が有名ですが、**感染や温熱刺激、物理的刺激**など色々です。



出典：http://www.e-skin.net/

おうちケアのポイント

一部分でかゆみが弱ければそのまま様子をみているうちに自然に引いていきます。
かゆみを抑える方法として**冷やすのが効果的**です。

病院での治療

かゆみが強かったり全身に広がる場合には、**抗ヒスタミン薬**の内服を行います。ステロイドの外用剤は症状抑制にあまり効果はなく推奨していません。

乳児湿疹

- **新生児期から乳児期**にみられる湿疹です。
- **新生児ざ瘡（ニキビ）や脂漏性湿疹**などが主ですが、アトピー性皮膚炎との区別が難しい場合もあります。
- 治療としてまずは**石鹸でやさしく洗います**。
ひどい場合にはステロイド薬や保湿剤を塗りましょう。
- 湿疹は一度はよくなってもぶり返すことも多いですが、生後3～4ヶ月頃までに自然によくなります。



新生児ざ瘡



脂漏性湿疹

出典：http://www.e-skin.net/



アトピー性皮膚炎

- **アレルギー**で起こる湿疹です。
- **2ヶ月以上持続**するかゆみのある慢性的な湿疹です。
- **ダニやホコリ、食物**が原因になりますが、食物による影響は乳児期がほとんどで、幼児期以降は食物による影響はほとんどありません。
- 乳児期は顔や首、腕の外側、足の表側などにできやすく、年齢が経るにつれて肘の内側や膝の内側などにできやすくなります。
- 治療は**ステロイド薬**を塗ります。また、かくとそれが刺激となり悪化するため湿疹がひどい場合にはかゆみ止めの内服も行います。



こんな場合は、救急車を呼んでください。

119
番

☐ 咳や呼吸が苦しそう ☐ ぐったりしている



すぐに受診

- ☐ 冷やしてもかゆみが強く
とても家では我慢できない
- ☐ 全身に広がるじんましん



スマホなどで撮ると
受診時Good!

診療時間内
に受診

- ☐ 発疹が一部分でかゆみが弱い
(冷やしてかゆみが弱くなる)
- ☐ 症状が続く

水いぼ 伝染性軟属腫 (でんせんせいなんぞくしゅ)

- 伝染性軟属腫ウイルスによる感染で、
湿疹と接触することで感染します。
- 写真のように表面はなめらかで盛り上がっています。
- 発症後6ヶ月から3年程度で自然にとれるため
他人と接触する機会が少なければ、何もせずに様子をみます。
- プール教室に通っているなど他人に接触する機会が多ければ、
摘除したり、お薬を塗ります。



日本皮膚科学会HPより

とびひ 伝染性膿痂疹 (でんせんせいのうかしん)

- 皮膚にいる細菌による感染です。
- 接触したり、虫刺されや湿疹をひっかいて感染した場合があります。
- 赤い湿疹→水ほう形成→膿がたまる→やぶける→かさぶたができます。
- 集まって生じます。
- 火事のとび火のように急速に広がっていきます。
- 治療は抗生剤を飲んだり、お薬を塗ります。



日本皮膚科学会HPより

赤い湿疹 → 水ほう形成 → 膿がたまる → やぶける → かさぶた